



住田高校の広報誌である「楽水乐山」は、住田高校の教育内容を校内外に向けて発信する情報紙です。自分の住む地域の水（川）や山を楽しむ（愛する）ことができる豊かな感性をもつ生徒になってほしいとの願いからそのように命名されました。本校の教育活動や生徒の活動の様子を広く保護者、地域の皆様にお知らせすることを目的として発行されます。「地域の将来を担う人材を育成できる学校」であり続けると同時に、常に「地域と共に歩む学校」「地域から愛される学校」でもあり続けたいと思います。

① 【令和6年度在籍生徒数（出身中学校地域別）】

学年	住田町	陸前高田市	大船渡市	遠野市	釜石市	その他	合計
1	4	7	9	1	5	2	28
2	6	2	5	0	2	0	15
3	4	1	5	0	7	0	17
合計	14	10	19	1	14	2	60
割合	23%	17%	32%	2%	23%	3%	100%

※本校は、住田町外の生徒が全体の約8割を占めるのが特徴です。

② 【令和6年度職員紹介】

※学年欄の「正」は正担任、「副」は副担任、「付」は学年付きを表す。

No	氏名	ふりがな	教科	担当	学年	部活動
1	伊藤 治子	いとう はるこ	国語	校長		
2	三上 浩永	みかみ ひろひさ	数学	副校長 教育振興会事務局長 「楽水乐山」発行		バレーボール
3	三浦 仁美	みうら ひとみ	英語	厚生相談課主任 特別支援教育コーディネーター	1B副	総合部補助
4	佐藤 仁	さとう ひとし	国語	教務進路課 進路指導主事	3A副	総合部補助
5	廣野 成道	ひろの しげみち	地歴 公民	総務生徒課主任 総務主任	3A副	アーチェリー
6	西出 和久	にしで かずひさ	理科	教務進路課主任 研究開発学校 教務主任	1A副	アーチェリー
7	吉田 一知	よしだ かずとも	理科	総務生徒課 研究開発学校研究主任 生徒指導主事	2年付	硬式野球 バドミントン
8	吉田 由紀子	よしだ ゆきこ	数学	教務進路課 研究開発学校 1学年主任 情報処理	1A正	パソコン
9	古澤 奏人	ふるさわ かなと	保体	総務生徒課 研究開発学校 3学年主任	3A正	陸上競技 バスケットボール
10	細川 正一	ほそかわ まさかつ	英語	総務生徒課（厚生相談）	2A副	総合部補助
11	山崎 歌子	やまざき うたこ	音楽	教務進路課 研究開発学校	2A副	総合部補助
12	鈴木 広樹	すずき ひろき	数学	総務生徒課 研究開発学校 2学年主任	2A正	総合部補助
13	鈴木 博子	すずき ひろこ	養護 教諭	厚生相談課 保健主事	3年付	美術
14	菅原 準	すがわら じゅん	国語	教務進路課 研究開発学校	1年付	総合部補助

15	千葉 亮太	ちば りょうた	保 体	総務生徒課 商業	1 B 正	硬式野球
16	高橋由美子	たかはし ゆみこ	書 道	非常勤講師		
17	河原 牧子	かわはら まきこ	家 庭	非常勤講師		
18	森 和枝	もり かざえ	特別支 援教育	特別支援教育支援員 (かがやき支援員)		
19	小山 裕康	おやま ひろやす	部活動 指導員	アーチェリー部活動指導		アーチェリー
20	Evonna Abierra Castillo	イヴォナ・アビエラ・ カステイーリョ	英 語	N・S (非常勤講師)		
21	菊池 亘	きくち わたる		事務長		
22	小澤 智	おざわ さとし		主任		
23	小岩 優太	こいわ ゆうた		ボイラー技士兼学校技術員		
24	佐々木真紀	ささき まき		非常勤事務職員		
25	小向はるか	こむかい はるか		住高ハウス〇〇スタッフ 住田町教育コーディネーター ※英会話講師経験を活かした英語サポート		
26	佐藤 範子	さとう のりこ		住高ハウス〇〇スタッフ 住田町教育コーディネーター ※専門学校教員経験を活かした進路サポート		
27	奈良 朋彦	なら ともひこ		住高ハウス〇〇スタッフ 住田町魅力化サポーター ※理系科目・音楽サポート、住田町の情報に詳しい		
28	國廣 朱音	くにひろ あかね		住高ハウス〇〇スタッフ 住田町教育コーディネーター ※豊富な海外経験を生かしたイベントを企画		
29	佐々木 章	ささき あきら		スクール・カウンセラー		
30	黄川美保子	きかわ みほこ		就業支援員 (就職相談)		

■スクール・ポリシー(3つの方針)【概要】

グ ラ ヴ ー ユ ー シ ョ ン ・ ポ リ シ ー (育成を目指す資質・能力に関する方針) ～このような力を伸ばします～

◆自然環境の保護、ジェンダー平等、社会的弱者への思いやりと相互扶助の精神をしっかりと持ち、人間関係の基本となる礼儀作法を身につけた生徒を育成します。のぞまれた人材となるため、校訓である「自主・創造・至誠・共生」といった4つの資質・能力を養います。

校訓「自主・創造・至誠・共生」について

- ・自主:自分から積極的にあいさつやまじめに仕事ができるなど、自主的、自律的に行動を起こすことができる。
- ・創造:多様な人・モノと出会い、失敗をいとわずに挑戦し、過去の経験や常識にとらわれずに新たな価値を創造できる。
- ・至誠:社会における自己の役割を認識し、他者に対してきちんとした服装や態度で誠実に向き合える。
- ・共生:気仙地域の豊かな自然を大切に守り続け、他者と協働して未来を生きる。

カ リ キ ュ ラ ム ・ ポ リ シ ー (教育課程の編成及び実施に関する方針) ～このような学びを行います～

◆文部科学省指定「研究開発学校」による新設教科「地域創造学」を教育課程の中心として位置づけ、地域社会との協働をとおして「自主・創造・至誠・共生」の育成を目標とした授業を行います。
また、「地域創造学」で発見した課題を解決するために、他の教科で得た学習内容を活用できる「生きてはたらく知識・技能」の習得を目指します。

本校では、このような3つの方針を
もって教育に取り組んでいます。



←住高キャラクター「カメシカ」

ア ド ミ ュ シ ョ ン ・ ポ リ シ ー (入学者の受入に関する方針) ～このような生徒を待っています

◆ 時代を先取りし新しいことに挑戦する意欲を持ち、地域社会の活性化に貢献したいと考えている人材を募集しています。特に、以下のような考えや意欲を持っている生徒の入学を期待しています。
・過去の経験や常識にとらわれることなく、新しい発想で物事に取り組みたい。
・過去の自分の失敗にとらわれることなく、「新しい自分」を発見してみたい。
・個性を認め合い、人権を尊重し、お互いの多様性を認め合える環境の中で安心して学業や課外活動に取り組んでみたい。
・ボランティア活動をはじめとして、他者のために役立つことをしたい。
・学習内容を基本から見直して、自分の可能性を広げたい。

—第 27 回海外派遣事業 報告—

令和6年2月 16 日～25 日(10 日間)
オーストラリア(ゴールドコースト)

3 年ぶりに行われた昨年度につづき、今年度もオーストラリアへの海外派遣が実施されました。参加したのは1 年生 3 名・2 年生 1 名の合計 4 名です。現地での様子について、引率された菅野誠二先生からご報告いただきましたので、みなさんに紹介します。

旅行 2 日目

昨夜は成田発が 11 時前と遅れに遅れ、メルボルンにも大幅に遅れ、入国手続きも必要だったため、時間がかかり乗り継ぎ線に乗れませんでした。カンタスと交渉して次の次の便に空きがありなんとか無事にブリズベン、ゴールドコーストに到着しました。生徒に疲れはあるようですが気持ちは元気なので大丈夫です。



← メルボルンからブリズベンに向かう飛行機からの写真です。

ホテルのベランダから海が見えます。(絶景!) →



旅行 3 日目

終日、ホストファミリーと過ごす。

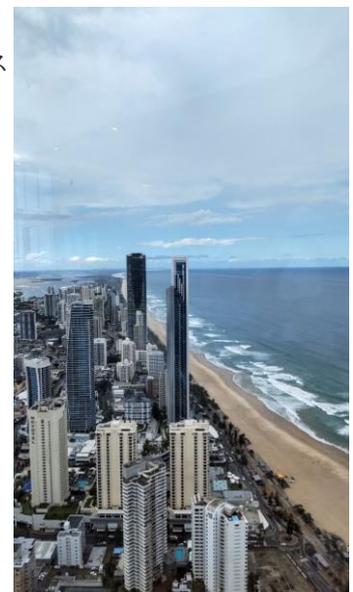
旅行 4 日目 (語学研修初日)

今日は授業初日で 8 : 00 から 13 : 00 までみっちり勉強しました。語学学校のクラスは、本校生徒 4 人の他、日本人 2 人、ブラジル、アルゼンチン、ウルグアイの生徒が 1 人ずつのクラスです。午後は予定変更で動物園に行きました。雨の動物園となってしまったのは残念でした。



旅行 5 日目 (語学研修 2 日目)

終日、今日もレッスンがんばりました。午後からはサーファーズパラダイスに行きました。展望台からゴールドコーストのながめが最高でした。



旅行6日目（語学研修3日目）

今日もみな大丈夫です。疲れもあるようですがなんとかサバイブしています。午後は豪の料理教室でした。



旅行7日目（語学研修4日目）

無事に語学研修を終え、一人一人に修了証が手渡されました。

本日のアクティビティは『アボリジニウォーク！』でした。オーストラリアの自然と文化（アイスも！？）を満喫です。



旅行8日目（語学研修5日目）

研修も終わり、みんなでBBQ！いよいよ帰国！ブリズベンのレストランで、オーストラリアで最後の夕食の様子はこちら。



旅行9日目（帰国）

ブリズベン空港での一枚。あとは成田に向かうだけです。

